

Title	2000年度三田社会学会大会シンポジウム「電子ネットワークと市民社会」：記録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2001
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.6 (2001. ) ,p.3-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集: 「電子ネットワークと市民社会」
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20010000-0003">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20010000-0003</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2000 年度三田社会学会大会

### シンポジウム「電子ネットワークと市民社会」：記録

**日時** 2000 年 7 月 15 日 (土) 14 時 40 分～18 時

**場所** 三田キャンパス東館 G-SEC Lab.

**司会** 関根 政美 (慶應義塾大学)

**報告者** 熊坂 賢次 (慶應義塾大学)

井下 理 (慶應義塾大学)

関根 政美 (慶應義塾大学)

清原 慶子 (東京工科大学)

**討論者** 川崎 賢一 (駒澤大学)

遠藤 薫 (東京工業大学)

#### 趣旨 (大会プログラムより)

インターネット・テクノロジーが急速に発展するとともに、一般社会に急速に浸透している今日 (日本でも利用者は 2000 万人を超えようとしている)、インターネットの利用が現代社会の人々の日常の生活やコミュニケーション活動に大きな影響を与えていることは間違いない。しかしながら、インターネットの普及によるその影響についての体系だった考察はまだ少ない。

とはいえ、一部にインターネットによる電子ネットワーク社会についての本格的研究が始まりだしたことも確かであるし、関心を持つ若い研究者も多い。日本の社会学では伝統的に市民社会の形成問題とマス・コミュニケーションの役割が論じられてきたが、インターネットによる電子ネットワークの形成が市民社会形成の問題とどう関わるのかという点を中心に、インターネットの特質とその可能性や限界についてシンポジウムではあれこれ論議していきたい。

今回のシンポでは、デジタル・デバイド、インフォ・ミドルなどについての論議を行いたい、体系だった議論というよりも問題定義と、今後の研究方向を検討する試論的なものとなる。多くの会員の参加を期待しつつ報告者は報告の準備中である。